



大規模災害を想定した 危機管理演習を開催します

近年の異常降雨を踏まえ、「雄物川の減災に係る取り組み方針」に基づき、大規模災害を想定した雄物川危機管理演習を実施します。
大規模洪水における河川管理者と自治体間との円滑な情報共有及び相互の連携強化を目的としたロールプレイング方式による「危機管理演習」を大仙市と湯沢河川国道事務所が共同で実施し、災害に備えます。

<危機管理演習>

1. 実施日時：令和元年11月20日（水）9時00分～12時00分
2. 実施場所：大仙市役所 災害対策本部室（互助会館第1会議室）
湯沢河川国道事務所 新庁舎 2階災害対策室
3. 参加機関：秋田県、秋田市、横手市、湯沢市、大仙市、仙北市、美郷町、羽後町、
東成瀬村、秋田地方気象台、東北地方整備局 合計 約80名
4. 演習想定：大仙市域に係る雄物川、玉川を対象

<検討会>

1. 日時：令和元年11月20日（水）14時00分～15時30分
2. 場所：大仙市役所及び湯沢河川国道事務所の両演習会場においてTV会議にて実施
3. 内容：演習の振り返り、評価結果・講評、意見交換など

※雄物川大規模氾濫時の減災対策協議会について

雄物川の大規模氾濫による被害軽減を図るため、市町村、県、国が連携・協力してハード・ソフト対策を総合的かつ一体的に推進することを目的として水防法に基づいた「雄物川の減災に係る取り組み方針」を策定し、各機関において減災のための各種取り組みを行っているものです。

【協議会構成機関】

秋田市、横手市、湯沢市、大仙市、仙北市、美郷町、羽後町、東成瀬村、秋田県
秋田地方気象台、秋田河川国道事務所、玉川ダム管理所、湯沢河川国道事務所

※発表記者会 秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社大曲・湯沢・角館支局

<問い合わせ先>

（雄物川大規模氾濫時の減災対策協議会事務局）

国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所

住所 湯沢市関口字上寺沢64-2

電話 0183-73-5544（調査第一課直通）

副所長（河川） 小嶋 光博（内線204）

建設専門官（河川） 菊地 純（内線403）

大仙市 総務部 総合防災課

住所 大仙市大曲花園町1番1号

電話 0183-63-1111（代表）

主事 梅川 優（内線387）

令和元年度 雄物川危機管理演習 概要①

1. 演習目的

本演習では、「雄物川の減災に係る取組方針」に基づく取り組みの一環として、雄物川流域の自治体において策定された「前線に伴う洪水等を対象とした、直轄河川管理区間沿川の市町村の避難勧告の発令等に着目したタイムライン（防災行動計画）（案）」に基づき、「ロールプレイング方式の図上演習」を実施し、タイムラインの有効性を検証・改善するとともに、災害初動期の対応行動の確認および習熟を目的とする。

2. 演習参加機関

- ◆演習主体組織
湯沢河川国道事務所、大仙市
- ◆ロールプレイ参加（予定）
減災協議会参加自治体、秋田地方气象台、ほか

3. 開催日・会場

- ◆開催日：令和元年11月20日（水）
- ◆会場：①湯沢河川国道事務所、②大仙市役所
※演習は、①、②の2会場で同時に実施
※検討会および講評は、両会場に参加者が集合してTV会議で実施

4. 演習スケジュール

時刻	次第
08:30 ~ 08:35 (5分)	開会・挨拶
08:35 ~ 09:00 (25分)	演習直前説明
09:00 ~ 12:00 (180分)	演習
12:00 ~ 14:00 (120分)	休憩・TV会議準備
14:00 ~ 15:20 (80分)	検討会および講評
15:20 ~ 15:30 (10分)	閉会・挨拶

参考 タイムライン（防災行動計画）の演習とは

- 災害対策本部の運営**について効果的に訓練するための図上演習の方式。
- 大規模災害を想定した状況（被害想定、シナリオ）をつくり、図上で**災害を模擬体験し、タイムラインの習熟を主目的とする。**
- 演習は、各災害対策本部で気象情報、水位情報を同時刻に確認しながら、ホットラインによる情報共有、道路冠水などの水災害情報の収集と対策の指示、住民対応を行いながら、玉川及び雄物川の大規模はん濫に備える。



平成30年度演習の様子（湯沢河川）



平成30年度演習の様子（自治体）

令和元年度 雄物川危機管理演習 概要②

5. 演習場面

雄物川流域において発生した平成29年7月出水をシナリオとする。

予条件として22日からの雨が23日深夜に雄物川や玉川の水位を急上昇させるものであるが、演習は23日0時から6時までの6時間のうち、タイムラインの習熟に重要と考えられる事象に着目し、川のはん濫以外で多く発生した水災害（道路冠水、住宅地の床下浸水など）住民の通報によって確認された災害も用い、大規模な河川はん濫に備えるまでを演習する。

6. 演習対象地域

- 市町村域：大仙市
- 河川：雄物川、玉川ほか

7. 主要演習項目

①迅速かつ適切な情報収集・分析

- (a) 災害情報（気象、雨量、水位、現地状況等）の収集
- (b) 収集情報の整理および管内の状況把握・今後の見通し分析
- (c) 組織内での情報共有
- (d) 上部機関への報告
- (e) 関係機関への情報伝達
- (f) 被害状況や関係機関等の状況把握【連携】等

②的確な状況判断

（夜間の急激な水位上昇に対する避難勧告・指示等の発令等）

- (a) 河川管理者から自治体に対する避難勧告等に関する助言【連携】
- (b) 避難勧告・避難指示等の適切な発令等

③大規模洪水における行政担当者の住民への正確な情報伝達

- (a) 住民への避難に関する効果的な広報、情報伝達【連携】
- (b) 住民・マスコミからの問合せ対応等

④浸水想定区域内における適切な避難誘導

- (a) 河川管理者から自治体に対する浸水想定区域に関する情報提供【連携】
- (b) 浸水想定区域内の把握と住民に対する情報提供
- (c) 現場要員（市職員・消防）への適切な情報提供・避難誘導の指示
- (d) 関係機関（警察等）への適切な情報提供・避難誘導の協力依頼等

⑤関係機関との緊密な連携

- (a) 他項目に【連携】と記載

令和元年度 雄物川危機管理演習 概要③

8. 演習実施体制

